　新緑が目にやさしい季節になりました。軽いフットワークで、自然に親しんでみましょう。

定例句会の報告

　絵手紙の会との交流で、絵心芽生える

　六月二一日、地区区民会館で定例の句会が開催されました。

　今回は、絵手紙の会の方をお招きして、絵手紙の描き方をご指導いただきました。絵手紙に俳句を入れて、俳句の表現を広げようと企画したものです。

　はじめに、野菜や花、調理道具など身近にあるものを題材に、ありのままに描いてみよう、と話があり、たまねぎ、にんじん、ピーマン、たけのこなどがテーブルに配られました。

持ち寄った色鉛筆、クレヨン、フェルトペン、水彩絵の具、マーカーペンなど、思い思いの画材を手に描きはじめることになりました。勝手が違い、戸惑うことしばし。たまねぎを見つめても、手は動かず悩んでいたところ、「気軽に手を動かしてみましょう」と声がかかり、見よう見まねで描き出した会員たち。絵心がないとため息がこぼれつつも、意欲的な作品が次々と完成しました。

　絵手紙の会の方は、たけのこの先の部分を紙面いっぱいに描いたり、用紙の右側にたまねぎを絵筆で力強く描いたりと、さすがと感嘆させられるものでした。私どもはといえば、紙面の中心に小さくまとめたり、かすれるほどか細い線を重ねたりでしたが、絵手紙の会の方から、「これも作品」と声をかけていただき、ひと安心する一幕も。

　絵が描きあがったら、俳句です。久しぶりに絵筆を持った戸惑いからか、いつもとはひと味違う句が絵の余白を埋めていました。個性あふれる文字と絵が、思いのほかマッチした作品に仕上がっていました。

　いつになくにぎやかな感想談は、芽生えた絵心や描く喜びで持ちきりでした。貴重な経験を提供していただき、絵手紙の会のみなさん、ありがとうございました。

旅行会の案内

　仙台七夕・松島を巡る旅

　恒例の旅行会を、以下の要領で行います。

暑い季節ですが、芭蕉ゆかりの地を訪れたいと思います。楽しいひとときをご一緒しましょう。

　申し込みは、担当の佐藤さんと鈴木さんにご連絡ください。

締め切りは、七月二〇日です。

　●旅先　　仙台・松島

　●月日　　八月五日～七日

　●費用　　三万円

投稿コーナー

山歩きで見つけたミズバショウです。まぶしい陽のなか、清楚に咲いていました。入江

入会者の紹介

　六月、会社退職を機に入会されました。

　　大北　三郎（六〇）

次回定例句会のお知らせ

　●日時　　七月二〇日　午前一〇時

　●場所　　地区区民館

　●兼題　　夏休み　花火　一句はご自由に